

### 3 評価指標の状況と今後の計画

#### 重点施策1 クラウドをベースとした業務システムへの進化

(評価指標) 自治体クラウドを構築している市町村数

(目標) 43市町村(平成27年度末時点)

(23年度末の状況)

- ・ 県及び県内市町村(名古屋市を除く)が参加する、あいち電子自治体推進協議会において「あいち自治体クラウド推進構想」の承認
- ・ 2市がクラウド化実施(平成23年度末)

(課題)

本施策は、クラウドコンピューティングなどの新技術を生かすことによって、効率的な業務システムを確立するために展開しています。

市町村のシステムのクラウド化については、既存のシステムからの円滑な移行や業務の負担を軽減するために、市町村同士での共同での検討や先行団体の実施状況の情報を共有していくことが必要です。

県庁内の業務システムについては、庁内クラウドの構築を進めるとともに、関連システムの再構築を行います。

(今後の主な計画)

##### 1-1 自治体クラウドの推進

- ・ 導入のための市町村のグループ化を行い、グループごとに方針決定(24年度)
- ・ 先行自治体のクラウド導入(25年度)
- ・ 各自治体の更新時期に合わせて順次導入(26年度～)

##### 1-2 業務システム基盤の再構築

- ・ 大規模システムの個別サーバ化に向けての開発(24年度～)
- ・ 大規模システムの個別サーバ化に向けてのデータ移行、稼働準備(25年度)
- ・ 個別サーバを共通サーバ化するための移行調整、仕様等検討(24～25年度)
- ・ 個別サーバへの移行開始(26年度～)

##### 1-3 業務システムの開発・改修

- ・ 税務システムの再構築・開発(24年度)、試験・稼働開始(25年度)
- ・ 財務システム 改修(24年度)、予算編成支援システム 一次改修(24年度)、二次改修(25年度)、公有財産管理システム 改修(24年度)、建設行政情報システム 改修(24年度)
- ・ 建設資産管理システム 開発(24年度)

##### 1-4 携帯情報端末を活用した業務改善

- ・ AR「陶磁資料館」の運用開始(24年度～)
- ・ 知の拠点の施設案内用の携帯情報端末の運用開始(24年度～)
- ・ 試行的に事業説明会・用地交渉現場における地権者説明に動画活用(24年度～)

##### 1-5 業務システム調達プロセスの改善

- ・ 全庁システム調査(毎年度)

- ・ 適正化事業としてシステム開発・改修について支援（毎年度）
  - ・ IT 調達指針、IT 調達ガイドラインの見直し（24年度）
- 1-6 情報通信基盤の強化
- ・ 地方機関の回線変更（24～25年度）
  - ・ 光回線への切替が可能となった県立学校について光回線化(24年度～)
  - ・ 交番ネットワークの構築(24年度)

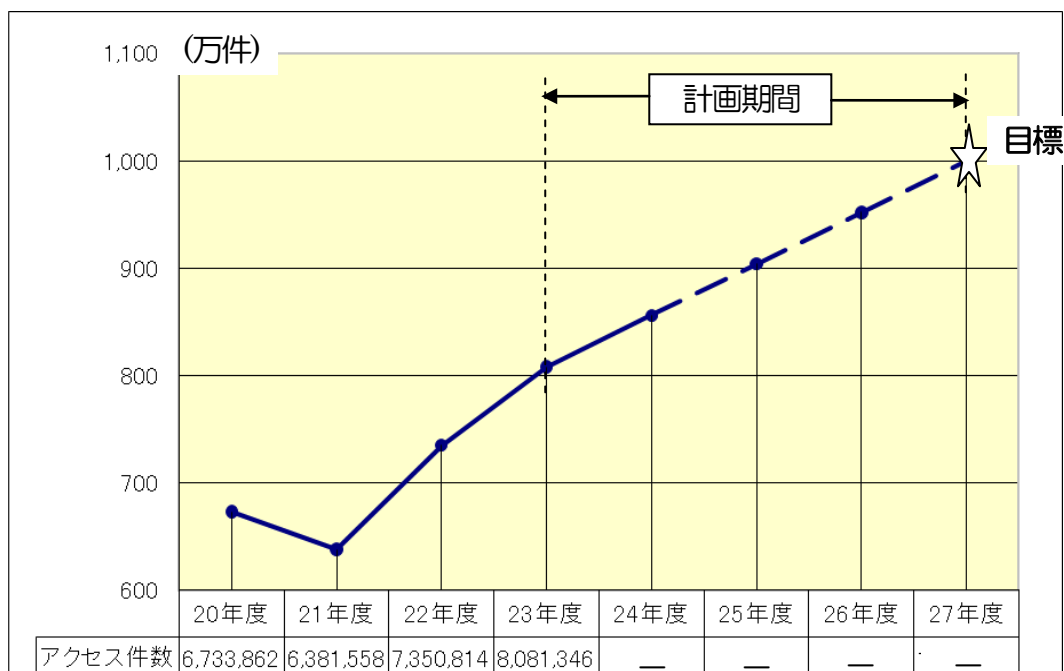
## 重点施策2 暮らしに役立つ行政サービスへの進化

(評価指標) 「ネットあいち」 (トップページ) のアクセス件数

(目 標) 1,000万件 (2015年度の件数)

(23年度末の状況)

- ・ 約808万件 (平成23年度計、全国3位) 参考：22年度＝全国4位  
(参考：20年度からの推移と目標年度の件数)



(課題)

本施策は、高度なICT環境を生かして県民生活の不安を解消していくために展開しています。

県が発信する情報の総合的な窓口である「ネットあいち」を、より親しみやすいものとしていくとともに、県民が必要とするコンテンツを更に充実する必要があります。

また、新たな情報発信をするサイト自体を、既存の媒体を通じて紹介するなど様々な形でPRすることが重要です。

(今後の主な計画)

2-1 楽しさを視点に置いた「ネットあいち」のリニューアル

- ・ PLAY!AICHI 特派員の拡充 (適宜)
- ・ クロスメディア・メディアミックスの実施については、発信する内容に応じた効果的な広報媒体・形式の活用を検討 (24年度～)

2-2 ネットコンテンツの充実

- ・ 県内公立図書館の有機的な連携のためのシステム設計(24年度～)、連携するための市町村図書館への説明会実施 (25年度～)

2-3 安全情報伝達体制の強化

- ・ ツイッターを用いた防災情報など周知の促進 (随時)
- ・ AEDマップへの登録の働きかけ (随時)、同マップの表示・入力項目の改修(25年度)。

2-4 ICT を生かした教育の充実

- ・ ICTを活用した魅力ある授業のあり方に関する研究会の開催(24年度)
- ・ 校務支援システムの導入 (24年度～)
- ・ 学校Web支援システムによる保護者への一斉メール配信の機能調査・検討(24年度、25年度)
- ・ 「あいちの学校連携ネット」の運営・PR (24年度～)

2-5 地域に応じた医療福祉体制の構築

- ・ へき地医療支援システムに係る経費の補助 (継続)
- ・ 周産期医療情報システムの機能向上のための改修 (24年度～)、周産期医療協議会を通じたシステムへの参加推進 (24年度～)

**重点施策3 デジタルコンテンツで加速する地域ブランディングへの進化**

(評価指標) 「感☆動! あいち」の動画へのアクセス件数

(目 標) 50万件 (平成27年度までの累計)

(23年度末の状況)

- ・ 約10万件 (「感動☆! あいち」開設後の23年度末までの累計)
- ・ アクセス数の多い動画 (「デート de 知多あるき」、「あいちの離島PR大作戦」、「愛知のふるさと・奥三河へきてみん!」)

The image shows a screenshot of a video player interface. The top section features the title "デート de 知多あるき" (Date de Chikama Aruiki) with a pink background. Below the title, there is a description in Japanese: "知多半島の萌キャラ「知多みるく」「知多娘。」が、知多半島の魅力をお届けします。お気に入りのキャラクターとのデート気分が味わえます。" (The cute characters of Chikama Peninsula, "Chikama Miruku" and "Chikama Nyan", deliver the charm of Chikama Peninsula to you. Experience the date mood with your favorite characters.) Below the description is a list of voice actors: "知多みるく/尾高もえみ 恵海しゅら/堀出菜 大府あかね/守屋ユウ 知多舞子/野島夕月 阿久比はるか/倉橋静香 常滑セラ/村井雄 武蔵乙姫/大塚楓乃音 美咲恋/寺本恵里 南知多マリナ/木村美田". To the right of the text is an illustration of several anime-style female characters. The bottom section has a pink background with the title "あいちの離島PR大作戦!" (Aichi's Island PR Big Battle!). Below the title, it says "愛知の離島(佐久島・日岡島・篠島)をPRする 『あいちの離島PR大作戦!』" (Promoting Aichi's islands (Sakushima, Hinokashima, Shinojima) with "Aichi's Island PR Big Battle!"). On the right side of this section is a large, stylized logo for "あいちの離島 PR 大作戦!" (Aichi's Island PR Big Battle!).

(課題)

本施策は、高度な ICT 環境を生かしながら地域資源の情報発信力を強化し、国内外で存在感ある地域ブランドを構築していくために展開しています。

近年、行政の分野においてコンテンツ作成により雇用対策や地域振興を図る様々な試みが行われていますが、今後継続して地域の情報を魅力ある形で発信していくために、情報発信してもらえらる協力者と連携するなど検討していく必要があります。

また、地域を活性化するための情報発信は、似かよったコンテンツを制作することと、とられる可能性があるが、作成過程やネット以外でのイベントなども含めた地域の盛り上がり、ICTの活用による相乗効果が生みだされるよう検討していく必要があります。

(今後の主な計画)

3-1 「PLAY! AICHI プロジェクト」の推進

- ・ 「愛知の“こだわり特産品CM”プロジェクト」によるCMの公開 (24年度～)
- ・ マスメディアの地域情報ポータルサイトを核に、NPO・市民グループが積極的に活動に取り組むための支援 (24年度)

3-2 ソーシャルメディアの活用

- ・ [ブログサイト「三河の山里だより」](#)においてソーシャルメディアの効果的な活用の検討 (24年度～)
- ・ [フェイスブックページ「リニロコとぴくくす」](#)で紹介する施設の拡大 (24年度～)
- ・ ソーシャルメディアの活用指針の策定 (24年度)

3-3 訴求力の高い観光コンテンツの充実

- ・ 新技術を活用したコンテンツの運用を踏まえたノウハウの情報提供 (24年度～)

3-4 親しみやすい文化芸術コンテンツの充実

- ・ 愛知県陶磁資料館、「AR陶磁資料館」の運用 (24年度～)、所蔵品・展示会情報等の検索システムの検討 (24年度～)
- ・ 愛知県図書館所蔵「絵図の世界」リニューアル (24年度)、WEBサイトリニューアル (25年度)

3-5 魅力が際立つ特産品コンテンツの充実

- ・ 農林水産部トップページの見直しにより情報発信の一元化 (24年度～)
- ・ 中小企業などに対するインターネットモールのセミナー等開催 (24年度～)

3-6 企業等との連携による情報発信力の強化

- ・ 中日本高速道路株式会社との包括協定に基づき三河山間地域の情報を発信 (24年度～)

## 重点施策4 モノづくりの高付加価値化を支える情報通信産業への進化

(評価指標) あいちベンチャーハウス入居企業の成長率(売上高前年度比増加率10%以上)

(目標) 目標達成企業が50%(毎年度の割合)

(23年度末の状況)

$$\frac{\text{(対象企業中で売上高前年度比増加率10%以上の企業)}}{\text{(あいちベンチャーハウスで2期決算を組めた対象企業)}} = \frac{9\text{社}}{17\text{社中}} \underline{52.9\%}$$

### (課題)

本施策は、情報通信関連製造業が次世代自動車などのモノづくりの高付加価値化を支えていくために展開しています。

今後の社会に有効となるシステムや製品の検討を、情報通信技術を活用して進めるとともに、産業の集積地である本県の特性を生かし、他の地域に先駆けて産業化につなげていく取り組みも重要になります。

### (今後の主な計画)

#### 4-1 研究開発の促進

- ・ 知の拠点重点研究プロジェクトの実施(試作品作成、商品化、特許出願等)(継続)
- ・ 「情報通信技術を活用した農業振興」など、東三河地域で企業サポート事業を実施(24年度～)
- ・ マルチモーダルセンサの実際栽培場面での実用性の検討(24年度～)
- ・ 農産物の収量予測ソフトの開発(24年度)、同ソフトの実効性の検討(25年度)

#### 4-2 スマートモビリティ社会の創造・

- ・ ITS協議会による実証実験受入環境整備、実証実験成果の普及(24年度～)
- ・ 交通事故情報の発生状況を基に、経路上の事故多発地点の情報提供など光ビーコンによる情報提供内容の拡大(24年度)

#### 4-3 情報通信産業等の誘致・育成

- ・ 21世紀高度先端産業立地補助金創設・補助限度額の引き上げ、新あいち創造産業立地補助金創設(24年度)。
- ・ 新学習指導要領における情報通信関連技術の習得に係る年間指導計画の作成、指導方法の検討(24年度)

#### 4-4 デジタルコンテンツ産業の育成

- ・ AR「あいち野鳥観察広場」、AR「陶磁資料館」に関する情報提供(24年度～)
- ・ 「未来科学技術体感ルート制作事業」により、愛・地球博記念公園とその周辺エリアにおいて、携帯情報端末による体験ルートを紹介するアプリの作成(24年度)
- ・ 愛知デジタルコンテンツコンテストの開催及び優秀作品の県庁動画サイトへの掲載(継続)



## 重点施策5 信頼のおける情報通信社会への進化

(評価指標) 情報セキュリティに関する研修の受講人数

(目標) 前年度実績値を超える人数(毎年度の人数)

(23年度末の状況)

- ・ 本庁全課室及び全地方機関に置いた情報化リーダーに対して研修を実施  
432名(23年度実績)
- ・ 他に新規採用、主査級、補佐級の各研修でも研修を実施

(課題)

本施策については、多様な主体と連携しながら、情報通信社会の安全性を高めるとともに、インターネット等の未利用者の不利益を軽減するために展開しています。

インターネットを幅広い人々が利用する情報社会においては、様々な使い方が普及して身近なものとなるプラスの面だけではなく、ネット犯罪や情報の漏洩などマイナス面があることを認識する必要があります。

また、スマートフォンなど便利な機器についても、危険性も注意喚起していく必要があります。

(今後の主な計画)

### 5-1 情報社会の安全性・信頼性の確保

- ・ 愛知県インターネット・サービスプロバイダ防犯連絡協議会総会等の開催(継続)
- ・ 教育委員会と県警本部が連携したサイバー犯罪防止対策の実施(24年度～)
- ・ 大学生サイバーボランティアによるサイバーパトロールやサイバー犯罪防止講話の実施(24年度～)
- ・ 「インターネット利用安全・安心講座」「安心ネットインストラクター養成講座」の開催(継続)
- ・ 愛知県教育委員会道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」での情報モラル教育実施及び関連情報の掲載(24年度～)

### 5-2 情報セキュリティの徹底

- ・ セキュリティ監査及び指摘事項の改善(継続)
- ・ 職職務の級ごとの職員向けの情報セキュリティに関する研修、及び職場ごとの情報化リーダーに対する情報セキュリティ研修の実施(継続)

### 5-3 アクセシビリティの確保

- ・ 県の公式WEBサイトについては、基本的にWEB作成支援システム(CMS)により作成する(継続)
- ・ 三河山間地域において、情報通信基盤を活用し集落等に対する情報発信などのあり方を市町村とともに検討(継続)

### 5-4 地理的情報格差の解消

- ・ 三河山間地域における移動通信の整備は、地元自治体の要望に併せて対応(継続)
- ・ 離島における通信環境について、通信事業者及び地元自治体に聞き取り調査を実施(継続)